

# かわの通信

2011年4月24日

vol. 88

春、まっさかり  
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

## 「北山公園・八国山見どころマップ」スタート



前号でお知らせしたように、北山公園に入口に「水と緑の掲示板」が設置されました。この掲示板の大半は「北山公園・八国山見どころマップ」です。このマップはその時々生き物を、北山公園・八国山で撮影した写真で紹介したものです。手作り感たっぷりのマップで約2ヶ月ごとに更新していく予定です。第1号は早春編として早春の花や冬鳥たちを掲載し、多くの公園利用者に見ていただきました。現在の第2号は、春編として春の花や蝶などを掲載しています。今後は季節の移り変わりに合わせて、初夏、夏、秋編などと更新していき、花・きのこ・蝶・トンボ・鳥など様々な生き物たちを紹介していきます。

このマップはかっぱの会の他、背景地図は西武・狭山丘陵パートナーズや東京都の、写真提供や編集作業には八国山たいけんの里自然部会など多くの方の協力で作成されています。そして、これらは将来的にコンパクトな手持ちマップにできればと考えています。ぜひ、みなさんも散歩や自然観察の際は、見どころマップをご覧になってみてください。(永)

# ほんと大変だったけど、 「東村山市みどりの基本計画・改訂版」まとまる！

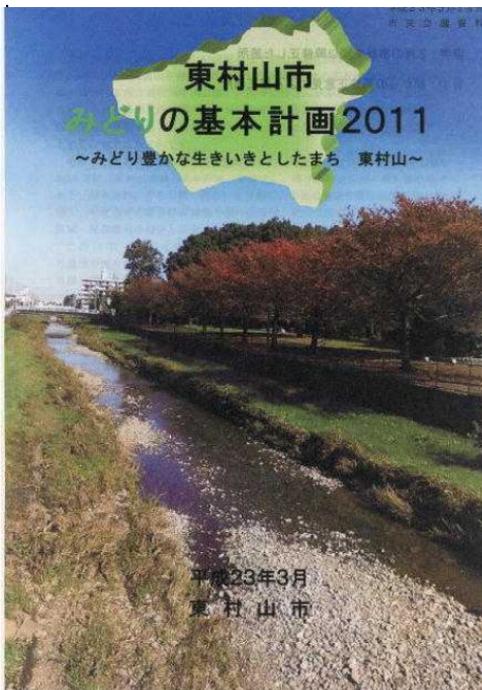
緑の基本計画を実現する市民会議メンバー 和田安希代

平成11年、10年間の市の計画として「東村山市緑の基本計画」が策定されました。当時、関わった市民がその計画を行政とともに進めるために「緑の基本計画を実現する市民会議」（以後・市民会議）を設置し、参画するという画期的な歩みが今日に続いています。

市民会議では2009年度にはこの計画の総括議論と共に野火止用水現地視察、緑の祭典での市民アンケート実施、市内湧水の2回の見学など、計画の進捗状況を点検してきました。2010年度は緑の基本計画がいったいどこまで進められてきたのかという総括をもとに、どこまで現状の緑を保全できるのか？新たなみどりの創出はどうやったら本当にできるのか？今後の新たな10年で何に絞って活動をおこなうのか、そんな議論が行ったり来たりで・・・どこに着地できるのか見えない時もありました。

しかしこの出口の見えない議論の中で発見したことは、最初の計画策定時に話し合われたこと＝「市民レ

ベルでの関心を広げる必要性」「人と自然との共生」「みどりの重要性」「都市化の中



でのみどりの在り方」「価値の見つめ直し」「水とみどりの空間を蘇生する」という・・・まさに私たちがおこなっている議論と同じ内容であったということでした。

10年という人の歴史のスパンと自然のサイクルの中の時間の流れとは何とスケールの違うことか？緑被率は10年で2.9%減の31.8%に落ち込みました。中でも農地、雑木林の消失は顕著です。東村山はみどり豊かな地域だといつまで言っていられるのか。私たちの議論は多くを新たな計

画の具体的実行をどうやったらできるのか？という内容に費やしました。



この新たな計画のキーワードは、◆東村山の原風景を残す◆水・みどり・土を守る◆みどりを生かしたまちづくり◆人々が参加協力してつくる東村山の環境の4つです。

特にみどりをまちづくりに位置づけたことと、人々の参加がみどりの保全に欠かせないことが今後の大切なポイントとなります！

第6章では市が市民と共に優先的にすすめる13の重点施策を具体化しました。また第7章では計画の実現に向けては市民との協働の中で、市民会議の位置づけと役割を明確にしています。

私自身は市民会議に途中から応募して参加し、この2年以上に渡る議論の中で、10年前に作られた「東村山市緑の基本計画」が、いかにその当時の人々が思いを込めて作られたのかを改めて知る機会になりました。北川かっぱの会、空堀川に清流をとり戻す会、原風景を守る会、東村山野鳥観察会など現場で活動されている専門家市民が加わる市民会議は貴重な勉強の場でもあります。

今年3月の東北関東大震災では多くの方々が亡くなられ、被災されたことに対しご冥福とお見舞いを心より申し上げます。自然の力の大きさを見せ付けられた思いです。しかしそれにも増して今も、いつ終息できるのかわからない状況で人々が避難を強いられている東京電力の福島原発事故に関して、自然の循環に治まらない原発の問題が露呈し怒りを覚えます。循環型エネルギーではない原発は今すぐ止めなければならないと強く思います。人々の緑の保全への参画、行動が広がることが原発をストップする力になることは間違いありません。

自然の循環の中にしか生きられない人間だからこそ、みどりの保全やみどりの創出で大気や水、土を守り、安心できる環境を作り続けることを一歩ずつすすめていきたいと思えます。

本計画書は市の図書館などの公共施設で閲覧できます。



## 桜の時期、今年もやってきました

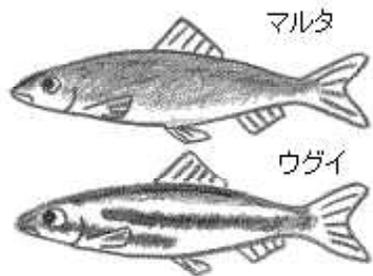
4月1日に、仲間から「マルタらしい魚の大群が、清瀬山緑地公園下流辺りにいる!」と連絡が来ました。

マルタはマルタウグイとも称され、ウグイとそっくり!、産卵期の体の色以外では専門家でないとは区別困難でよく混同されているようです。ウグイは、多摩川水系の中～上流で普通に見られますが、新河岸川～柳瀬川に生息しているのは全てマルタではないか?という専門家のコメントもあります。ふだんは、主に下流～河口域を生息場としていますが、桜の咲く頃、産卵のために群れて川を上って来ます。40cm余りの魚が、浅い所を背びれを出しながら群れて泳ぐ姿は、さぞや壮観な眺めでしょう。

生活史の中で、川を上り下りする魚介類の種類は以外に多いのですが、特にマルタやサケのように、適当な産卵場を求めて川を遡る魚にとって、滝のような川にある段差は大きな障害となります。川底が掘れるのを防ぎ、勾配(川底の傾斜)を安定させるという治水上の理由から、コンクリートなどで川を横断する構造物が造られていますが、上下で落差がある場合を落差工といい、落差が大きくなるほど生き物にとって高い壁になります。

しかし、14年前の河川法改正を契機に、生物の専門家や環境保護に熱心な人たちの意見も取り入れて、垂直段差から斜面へ、さらに傾斜を緩くしたり、石を配置して凹凸の陰で休めるようにするなど、いろいろ

な大きさの生き物が往来しやすいように工夫された改修工事も進んで来ています。マルタも喜んでいてることでしよう。(康)



## 東村山の原風景 せせらぎの郷・多摩湖緑地 都市計画緑地として指定

せせらぎの郷・多摩湖緑地は、東村山市条例に基づき、緑地保護区域に指定され取り組まれてきましたが、この3月さらに魅力ある緑地として整備・保全していくため東京都指定の都市計画緑地として決定されました。このことにより東京都支援で公有地がすすめられます。長年この多摩湖緑地保全に取り組んできた東村山原風景を守る会の近藤邦雄さんに寄稿いただきました。

多摩湖町二丁目20番地他にある多摩湖緑地は、「みどりの基本計画の重点施策」に位置づけられ、東村山市で1番目(都では10番目)となる都市計画緑地に指定されました。この指定により「緑地・畑・溜池水路・宅地道路を含め」た部分が、既に公有地化部分を含め1.5ha、将来公有地化されます。

この谷戸は市内でも貴重な動植物が残り、かつ復元もされ原風景として保存されています。春先は新緑が楽しめ、貴重な植物があり、四季を通じて植物による浄化作用ができます。秋の紅葉が楽しめ、冬は落葉活用が行なわれています。

ここは当初は、「せせらぎの道整備事業」として1996～2000年(2000年オープン)、初の住民参加のワークショップ形式で計画・設計・工事が行われ、検証を進めながら維持管理を継続してきました。この間、保全についてのワークショップの開催や、里地取得・溜池水路の国から市への管理移管もありました。また、2010年6月には多摩湖緑地10周年の記念イベントも開催できました。

防犯協会や地域の方を含め、回田小学校下の周辺部の下草刈り取り等も行っていました。

維持管理については「みやげべ会」として5年間、2006年からは「東村山原風景を守る会」と改称し行ってきました。2010年3月末には、「せせらぎの郷」全体の管理契約を市と締結しました。

谷戸にはカワニナが生息する



「東村山原風景を守る会」の活動(事業)目的は、里山、畑、水辺環境(せせらぎの郷)の保守管理、動植物の保護育成を行うことです。加えて自然観察会の開催などを通して、回田小学校をはじめとする市内学校の環境学習の場となるよう「せせらぎの郷」の利点を啓発していくことです。また、学習資料の作成や自然保護団体との交流により循環型社会育成への貢献に取り組んでいきます。

多くの市民の方にこの多摩湖緑地を見ていただき、さらに原風景への活動協力を呼びかける次第です。(近藤邦雄)

多摩湖緑地は、回田小北側。回田緑道経由または、武蔵大和駅遊園地駅から近い



## 報告 総会を開催しました

2月26日(土)の夕方、廻田公民館で第16回総会を開催しました(当日の議案書については3月5日付けの「かっぱブログ」をご覧ください)。以下、今年度の活動方針案について議論となった主な点を記す。

①**流域のブラックバス対策** 継続的な魚類等調査を円滑に実施していくために「投網」を打てる人材を計画的に養成していく必要がある。今年度は本腰を入れて養成していくべきだ。

②**環境学習** 「水と緑の掲示板」の運用がスタートしたこともあり、大人向けの観察会などのイベントを考えていくのがよいのではないかと。また、公民館の講座とタイアップした環境系の講座を検討することができないか。

③**環境調査** レッドデータリストに掲載されている生き物(例; シュレーゲルカエル、トウキョウサンショウウオなど)を重点的に調査していく必要がある。また、今後は、流域の植物調査についても継続的に実施していくべきだ。

④**行政等との連携** 生物多様性の復元を推進していくためには、流域のコイやゲンゴロブナ対策について、重点的に取り組んでいく必要がある(そろそろ避けては通れない時期なのではないか)。

⑤**情報発信力の強化** 多摩湖緑地が都市計画緑地として指定されたことを記念したイベントを企画したらどうか。

⑥**活動する人の層の拡大** いろいろな世代の人が参加しやすいようなイベントづくりが重要だ。

以上のような議論がありましたが、2010年度活動報告案と2011年度活動方針案は原案どおり承認されました。また、2010年度決算報告案、2011年度予算案についても原案どおり承認されました。

2011年(度)の役員選出では、事務局長が代表を兼ねることとし、環境学習・調査と遊軍の担当者について一部見直しを行いました。なお、事務局の事務負担が大きいため、事務局を補佐していく体制づくりについても確認し合いました。なお、会費を納入していただいている会員の皆様方には、本号の送付に併せ、2010年度決算報告、2011年度予算、2011年度組織体制(役員名簿)についてお送りしました。



# —2011年 5月～6月 活動スケジュール—

## 北山公園整備計画意見交換会（通称「川端会議」）

5/7（土）10～12時 ふるさと歴史館。北山公園を中心とした公園や緑地、北川等の整備や保全について、市、市民団体、市民が意見交換を行います。どなたでも参加できます。

## 八国山自然観察ウォーク

5/7（土）13:30～15時頃 八国山たいけんの里集合 八国山たいけんの里自然部会によるガイドウォークです。北山公園内に設置の「八国山・北山公園見どころマップ（水と緑の掲示板）」の編集者によるガイドがあります。悪天の場合は中止（中止の場合には、当日の「かっぱブログ」に掲載します）。

## 定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

5/14、6/11 集合：北山小正門前

## 春の北川クリーンアップ

5/15（日）10～12時 北山小正門前または精心幼稚園北側の勝陣場橋、水道橋集合。雨天中止。ビニール手袋（または軍手）、長靴、タオル持参

## オオフサモ駆除 at北川

5/14（土）15～17時 縄文遺跡橋集合（縄文遺跡公園の近くです）。北川で繁殖している特定外来生物「オオフサモ」の駆除を行ないます。詳細は5月8日頃までに「かっぱブログ」に掲載する予定です。

## 全国の川・一斉調査 at北川・前川

6/5（日）9～12時頃 廻田公民館会議室集合。北川と前川の定点観測点10か所のCOD、アンモニウム、亜硝酸の各濃度、pH値、透視度などを調査します。併せて水底生物の調査も実施。簡単なテストで水の現状がおもしろいようにわかります。小学生なども環境の現状について楽しく学ぶことができます。雨天決行。

## かっぱ定例会+夏まつり実行委員会

6/18 15～17時 MARU茫々亭  
9月頃までの活動予定、夏まつりの企画などについて討議します。

## せせらぎの郷・多摩湖緑地都市計画緑地決定記念イベント

6/25（土）17時～ 現在、イベントの内容について企画。ホテル観察を中心としたイベントを予定しています。詳細は6月上旬頃までに「かっぱブログ」に掲載予定です。

## 小学校土曜講座

### 北山小・ヤゴ救出作戦

5/28（土）9～12時頃

北山小プール集合

雨天の場合は翌日に順延



### 富士見小+南台小・八国山昆虫採取

6/18（土）10時頃～ 雨天中止。

### 北山小・ホタル観察会

6/18（土）18～20時頃 狭山公園パークセンター集合 雨天中止。

## インフォメーション

### 東京ガス環境おうえん基金 の助成決定！

北川かっぱの会では、去る1月に「東京ガス環境おうえん基金」の助成金の申請を行っていましたが、その交付内定通知書が届きました。

「北川流域の自然環境の復元活動の強化」をテーマに、①八国山＋北山公園見どころマップの作成（「北川流域マップ」の仕様で作成）、②北川のオオフサモ駆除作戦の実施、③ブラックバス対策の継続（魚類等調査の継続的な実施）、④環境学習用の「生き物カード」の作成など、合計42万円の助成を受けることとなります。助成を受けることにより、北川かっぱの会の活動がさらにパワーアップし、地域の自然環境の復元活動が大幅に強化されることになりそうです。東京ガス環境おうえん基金他、関係者の皆様方に深く感謝したいと思います。

### 北川かっぱの会 会議日程

定例会 6月18日(土) 15~17時

MARU 茫々亭 9月頃までの活動予定、夏まつりの企画などについて討議します。

### ●編集後記

春の嵐が去って今朝は気持ちよい朝。東北の山はブナの新緑が素晴らしいだろう。連休は残雪と新緑の山に向かいたい。「がんばろう東北の思い」で。  
(遊星歯車)

## かっぱの会 会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

### ●会費 年間3000円

「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。

### ●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

### ●会費振込先

上記へ現金書留または

[郵便振替 00120-6-104476]

[りそな銀行東村山支店(普)

3605694]



加入者名 北川かっぱの会

\*\*\*\*\*

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

\*\*\*\*\*

### 『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

### 『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

\*\*\*\*\*

●発行 北川かっぱの会 東村山市野

□町 TEL 042-395-7705 渡辺